

結核疫学調査実践コース



◆ 研修の目的

アウトブレイク時だけでなく、平時から公衆衛生の向上や感染症拡大防止を目指す、職場でのリーダーシップが期待される人材の研修コースです。

結核を題材として、疫学データ解析、実地疫学と分子疫学調査の連携、接触者健診や集団発生、サーベイランスからアウトブレイクの探知など、実践的かつ結核対策強化に役立つ研修です。

地方衛生研究所、医療機関感染看護師等の方にもご参加いただけます。

◆ 研修コース紹介

コース名・開催期間	対象	研修内容
結核疫学調査実践コース 2026年12月16日～18日	保健所、医療機関、地方衛生研究所の結核担当者等 (結核業務担当で、既に結核研究所の各種研修コースに参加された方、あるいは同程度の知識と経験のある方)	感染症疫学の基礎、積極的疫学調査、実地疫学、疫学データ解析の理解や活用、接触者健診による結核集団発生への対応力の向上を目指します。 グループワーク等を通して、モデル事例を活かした演習や、各自治体の結核状況をもとに地域分析や、コホート検討会への応用等の演習を含む構成になっています。 既に結核の基礎知識を習得済みの方が対象ですので、基礎的・臨床的な内容の講義は含まれません。

※受講者人数により、内容や形式、事前にご用意いただく課題内容を変更いたします

◆ ご用意いただくもの

各自治体の結核状況の紹介、グループ討議等を行いますので、統計データや集団発生事例について、研修受講までにご準備をお願いしています。詳細は事前にお送りする資料をご確認ください。